

Book Fan Newsletter

発行:平成26年11月15日

編集:塩尻市立図書館

0263-53-3365

(Book Fan Newsletter 29号)

書店員が選んだ

今月のおすすめ本

『子どもと一緒に読みたい絵本全国 100軒の絵本屋さんによるベストセレクション!』
玄光社

8のテーマごとに、親も一緒に読んで欲しい本、店頭や読み聞かせをして反応の良かった本を推薦しています。「絵本とわたし」のテーマで小説家、タレントなどのエッセイ&インタビューも掲載。絵本選びに迷った時にはもちろん、各絵本の表紙も楽しめ、年代を超えて家族での話題づくりにも役立つ1冊です。

(神田堂 大塚さん)

『もったいないばあさんのてんごくとしごくのはなし』

真珠 まりこ / 著 講談社

あの“もったいないばあさん”が、ついに現生を飛び出した！ こわーい鬼のいる地獄で起こるもったいない事って？ きれいな天女さまのいる天国で起こる事って？

「もったいない」という言葉の先に見えるものは、人や物に対する敬意かもしれません。子どもだけでなく大人もハッと気づかされることでしょう。

(興文堂 古川さん)

『億男』

川村 元気 / 著 マガジンハウス

デビュー作『世界から猫が消えたなら』が70万部を突破した川村元気の2作目。弟の借金の肩代わりが災いして妻と娘に去られ、ただ返済のための日々を孤独に送る図書館司書の一男。そんな彼が、たまたま手にした宝くじでなんと3億円を当選させます。突如『億男』になった時、果たして彼は思い通りの幸せをつかむことができるのか…？ 作中に散りばめられた偉人たちの数々の“金言”のアクセントが効いています。

(中島書店 小野さん)

『ソロモンの偽証 第1部～第3部』

宮部みゆき / 著 新潮社

一人の少年の死の真相を迫するため、同級生たちが学校内裁判に乗り出した。裁判の様子は綱渡りのようだ。感情論に偏ったらバランスを崩して墜落する。感情を無視したら出来事の背景が分からない。真実に向かって、彼らは時間をかけて調べ、考え、協力し合う。その過程は結論以上に意味のあるものだと感じられる。作者がネットの普及した現代ではなく、少し前の中学生を主人公として描いたのは、そのためかもしれないと思った。

(中島書店 青木さん)

『人生が変わる!特選昆虫料理 50』

木谷 美咲、内山 昭一 / 著 山と溪谷社

止まらない食欲の秋に…。イナゴや蜂の子などの郷土料理で免疫のある信州でも思わず仰天してしまう驚きの昆虫料理の数々。食材としての可能性を強く感じた筆者が真剣においしさを追求したフルカラーレシピ集。震える手が止まらない(!?)一冊。

(丸文書店 金子さん)

※画像のない本は、本紙発行時点で図書館に所蔵していない本です。

📖 この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。📖

神 田堂 (52-1283)

注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。

興 文堂書店 (97-3949)

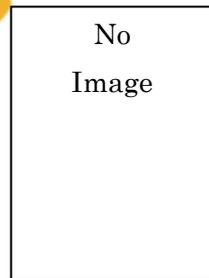
平田店の未就学児向けおはなし会。11月16日(日) 12月14日(日)いずれも午後2時から開催します。

中 島書店 (54-3968)

大切な人へ贈りたい一冊を集めました。『一年の感謝をこめて、あの人へ・・・』
期間:11月20日～12月19日

丸 文塩尻書店 (52-5515)

えんば一くから3階渡り廊下を使って徒歩約1分! 図書館で気に入った本、店頭にはない本は最短3日でお取り寄せいたします。



図書館職員が選んだ

今月のおすすめ本

『かしこいモリー』

ウォルター・デ・ラ・メア / 再話 ほるぷ出版

三人姉妹の末っ子モリーが知恵と勇気を振り絞り大男を懲らしめて幸せを勝ち取る、イギリスの痛快な昔話です。エロール・ル・カインが描く美しい絵は緻密で奥深く、幻想的なおはなしの世界に誘われます。本館児童コーナーには昔話や伝説のコーナーを設けていますので、併せてご利用ください。

(児童書担当 平澤)



『盆おどる本』

盆踊ろう会 / 編 青幻舎

夏の風物詩、盆踊り。なぜ、輪になって踊るのか？ 全国にはどんな盆踊りがあるのか？ 身近な場所で、誰にでも開かれながら、実は意外と知らないことの多い盆踊り。その入門ガイドとして、読めば早くも来年の夏が待ち遠しくなる一冊です。

(社会科学分野担当 杉山)



『6月31日6時30分』

寺村 輝夫 / 著 安野 光雅 / 絵 復刊ドットコム

「この本は、ごご6時30分よりまえに、よんでください。なぜ？ そうすると、6月31日に、きっと、あなたは…」まえがきのこの言葉、気になった方はぜひ読んでみてください。へ理屈、不条理、不思議で不気味。でも子どもの心を引き付けて離さない。“王さまシリーズ”で有名な寺村輝夫さんのナンセンス物語。1974年刊行された書籍の復刊です。

(児童書担当 青山)

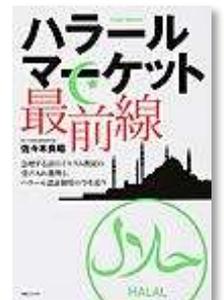


『ハラールマーケット最前線』

佐々木 良昭 / 著 実業之日本社

最近メディア等で耳にする「ハラール」とは、イスラムの教えで「合法とされるもの」や「許されたもの」を意味します。増加傾向にあるイスラム圏からの観光客に向け、日本ができる“おもてなし”とはなにか、東京や京都の実例を交えて紹介した1冊です。異文化理解を深めるためにも役立ちます。

(哲学・宗教分野担当 林)

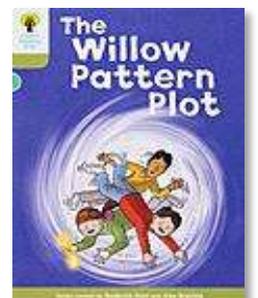


『Oxford Reading Tree』

Oxford University Press

イギリスの約80%以上の小学校で国語の教科書として採用されているシリーズ絵本です。大人でも楽しく読むことができ、日常生活がユーモアいっぱい描かれたストーリーで、ネイティブスピーカーの子どもたちが使う表現を自然に学ぶことができます。図書館にはstage4~9がありますので、学習したいレベルなどに応じてご利用ください。

(洋書担当 太田)



『なんたってドーナツ』

早川 茉莉 / 著 筑摩書房

一冊全てドーナツについてのエッセイや詩で構成されています。子ども時代の懐かしい思い出、好きなドーナツの作り方や食べ方、真ん中の穴の存在。村上春樹、江國香織、角野栄子、清水義範など41人の作家がドーナツの思い出を語ります。

(文庫担当 伊藤)

